

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和元年度 第2回社会教育委員会		
開催日時	令和元年11月28日(木) 午後1時30分から午後2時40分		
開催場所	みよし市役所3階 研修室3		
出席者	委員長 秋松成喜 副委員長 鈴木輝二 委員 野口尚子、大地由美子、中山弘之、塚本 剛、原 俊輔、日置睦親 山崎教育部次長兼教育行政課長、林資料館長、甲村スポーツ課長、 竹谷生涯学習推進課長、石川スポーツ課主事、増岡主査、吉野主事 (計15名) 傍聴者：0人 欠席者：3人		
次回開催予定日	令和2年年2月下旬		
問合せ先	みよし市教育委員会教育行政課 担当者名 増岡 電話番号 0561-32-8028 ファックス番号 0561-34-4379 メールアドレス kyouiku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
審議経過	<内容> 1 あいさつ 2 協議事項 (1)令和元年度前期社会教育・生涯学習活動報告について ア 生涯学習講座等について イ 家庭教育推進事業について ウ 文化振興事業について (2)令和元年度後期社会教育・生涯学習活動計画について ア 生涯学習講座等について イ 家庭教育推進事業について ウ 文化振興事業について 2 報告事項 (1)東海北陸社会教育研究大会参加報告について 3 その他 (1)令和元年度第1回社会教育委員会での提言に対する回答		

《会議録》 開会 事務局 1 あいさつ 秋松委員長	定刻となりましたので、ただいまより、令和元年度第2回社会教育委員会を開催いたします。 本日の会議は、中村委員、岡本委員、橋本委員が所用により欠席されるというご連絡をいただいておりますので、よろしくお願いします。 また、本日の傍聴の申し出はありませんでした。 それでは初めに、秋松委員長にごあいさつをお願いします。 本年度第2回社会教育委員会にお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。来週から師走でございますが、皆さまにはご壮健のことと拝察申し上げる次第でございます。 本日の報告事項となっておりますが、先月の10日、11日に三重県津市で東海北陸社会教育大会が開催されました。出席された委員の方には大変ご苦労さまでした。その大会あいさつでも触れられていましたが、社会教育も少子高齢化、多様化・複雑化と社会の変化に対応した施策が求められてきております。先に中央教育審議会からの一つの答申が出されておりますが、今後の地域における社会教育の在り方として「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を機能させることが、学びと活動の好循環を生み、そしてより多くの住民の主体的な参加を得られるような方策を工夫・強化することにより、新しい、開かれた、つながる社会教育の方向性が見出せるのではないかとされているところでございます。 どうか皆さま方におかれましても、社会教育を基盤として、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を念頭におかれ、それぞれご活躍の分野を含め、社会教育活動を推進いただければ幸いと存じます。 以上、簡単でございますが、開会にあたってのあいさつといたします。
事務局 山崎教育部次長兼 教育行政課長	ありがとうございました。 続きまして、事務局、山崎教育部次長兼教育行政課長があいさつを申し上げます。 本日はご多用の中、令和元年度第2回みよし市社会教育委員会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。 委員の皆様におかれましては、本年度におきましても、5月30日に開催しました第1回社会教育委員会以降、委員長始め参加をお願い申し上げました委員の皆様には、「県及び西三河の社会教育委員連絡協議会」や「県公民館連合会」、「県外研修」、「人権教育」などの総会・研修会などにそれぞれお忙しい中、本市社会教育委員として参加・活動いただいていることに対し、感謝を申し上げます。 さて、この場をお借りして先の9月議会において、9月30日で任期満了となった今瀬教育長が再度承認され令和元年10月1日から令和4年9月30日までの3年間引き続き教育長として就任されました。また教育委員1名の退任による新しい教育委員1名が承認され、鈴木千郷様が令和元年10月1日から令和5年

	ります。1 番の「家族が健康になるごはん～食事からはじめよう貧血対策！～」から、11 ページ、67 番の「こども一日講座パズルを解いてプログラミングを覚えよう」まで、67 講座を前期の悠学カレッジ講座として開催いたしました。ちなみに、1 番から6 ページ一番上段24 番の「【小学生限定】木のうちにサノフラワーを貼ろう」までの24 講座が「生活創造講座」で、総計61 回の講座を開催し、279 人に受講していただき、延べ641 人の方に参加していただきました。次に、25 番「シニアから楽しく始める英語入門」から、8 ページの中段あたり、44 番の「【小学生限定】フランス語であそぼう」までの、20 講座が「国際理解講座」で、総計100 回の講座を開催し、242 人に受講していただき、延べ1054 人の方に参加していただきました。次に、45 番「パソコンを楽しもう！シニアのためのパソコン講座」から、最後11 ページ67 番までの23 講座が「情報通信講座」で、総計121 回の講座を開催し、211 人に受講していただき、延べ973 人の方に参加していただきました。 以上が、前期に実施しました生涯学習推進課の活動報告となります。
林資料館長	12 ページからご参照ください。 石川家住宅管理事業では、石川家住宅歴史体感講座として子どもから大人までを対象に毎週土曜日日曜日に歴史体験講座や昔のあそび、ものづくりなどのイベントを開催しています。毎月開催する講座は、伝承木綿講座、絵手紙講座、琴、布草履作成、篠笛などがあります。随時開催する講座としては、水鉄砲、竹笛、はすの実飾りなど季節に合わせて手作り玩具作りを開催しています。随時開催するイベントでは、福笑いや坊主めくりなどの昔の遊び体験を行っています。夏季開催イベントとして、なつまつりを開催しています。また、サンアート出張コンサートとして石川家住宅座敷で琴やサキソフォンの演奏を行いました。4月6日から9月29日までの前期分として132 回の講座を開催しています。 資料館展示事業では、縄文どきめき体験講座として「土器づくり」「石器作り」「野焼き」「ドッキー作り」の4 講座を行いました。土器づくりはやきもの作りの原点である縄文土器を作る講座で、参加者は縄を使って模様をほどこすなど、縄文時代と同じ手法で土器づくりを行い、当時の技術を体験するものです。石器作りは黒曜石を使って矢じり作りを行い、縄文時代の生活の一端を体験することのできる講座です。野焼きは、土器づくりで作った土器を、縄文時代に行われた野焼きという方法を使って、南部小学校の駐車場をお借りして焼きを行いました。ドッキー作りは、本物の土器片を観察しながらクッキーを作る講座です。
甲村スポーツ課長	資料14 ページをご覧ください。説明させていただく前に資料の訂正をお願いします。5 番のカローリング交流会の「延べ出席者数」欄の87 人を112 人に、6 番のカヌー出前教室の「申込者数」欄の86 人を8 校に、「受講者数」欄及び「延べ出席者数」欄の86 人を591 人に、11 番の三好ともいきスポーツクラブの「受講者数」欄の空欄を176 人に訂正をお願いします。 それでは、スポーツ課に関係します生涯学習活動について説明します。1 番の

山崎教育行政課長	幼児の親子体操教室から4番のスタント教室までは、市教育委員会が主催しましたスポーツ教室です。スポーツ教室への延べ参加者数は、1,544人でした。5番目のカローリング交流会は、スポーツ推進委員が主管して実施している事業です。なお、述べ人数は112人で、この人数はスポーツ推進委員、運営ボランティアの皆さん、三好高校の生徒さんによるボランティアを含めた人数です。6番目のカヌー出前教室から8番のカヌーボロ体験会は、カヌー協会が主催する事業です。6番目のカヌー出前教室は、市内小中学校のプールや三好池カヌー競技場、保田ヶ池カヌーボロ競技場などを利用して、市内の小中学校から要望のあった学校を対象として実施したもので、本年は5小学校、2中学校、学びの森で実施しました。9番から11番は市内にあります総合型地域スポーツクラブの活動です。受講者数欄の数値は9月末現在の会員数です。昨年と比較し若干減っていますが、年度末まで会員募集を継続していますので、最終的には昨年の実績位にはなるのではないかと考えています。 イ「家庭教育推進事業について」とウ「文化振興事業について」説明いたします。はじめに、「家庭教育推進事業について」、資料17ページをお願いします。「いきいき子育て講座（幼児期家庭教育学級）」につきましては、幼稚園児とその保護者を対象とした講座で、私立幼稚園6園において6講座を開催しました。申込者は362人、受講者は301人でした。各講座の内容、講師、開催日時、会場、参加人数等につきましては、資料に掲載していますのでご覧ください。 次に、家庭教育学級についてです。まず、資料の訂正をお願いします。18ページの中部小学校の1番の「延べ出席者数」欄の10を13に、同校2番の「延べ出席者数」欄の20を11に訂正をお願いします。 それでは、説明させていただきます。資料18ページからの小学生の保護者を対象とした「家庭教育学級」につきましては、市内8小学校において、各校3回～5回の開催回数で計画され、全校で29講座となっています。その内4月から9月までの前期で延べ18回開催され、提出された実施報告書の内容を掲載しています。18回の受講者は488人、児童を含む延べ出席者は513人となっています。11月27日、昨日現在で開催済みの講座は24講座となっています。6講座については、52・53ページの10月以降の後期社会教育・生涯学習活動計画書に計画として掲載されています。なお、各講座の内容、講師、開催日時、会場、参加人数等につきましては、資料に掲載していますのでご覧ください。 次に、資料21ページの中学生の保護者を対象とした「思春期家庭教育講座」です。市内4中学校において各校1回ずつ計画されており、4月から9月までの前期で北中学校の1校で実施され57人の受講者がありました。11月27日、昨日現在で4校全てにおいて実施されています。三好中学校、南中学校、三好丘中学校は、54ページの10月以降の後期社会教育・生涯学習活動計画書に計画として掲載されています。各講座の内容、講師、開催日時、会場、参加人数等につきましては、資料に掲載していますのでご覧ください。 続いて、「文化振興事業について」、資料23ページをお願いします。「文化振興
----------	---

	事業」のうち、サンアートの指定管理者であるホームックスグループ共同企業体が行った事業です。４月から９月までの前期に１８件の事業を開催しています。定例の「ロビーコンサート」毎月の６回、「みよしいいじゃん大学」１回のほか、１１番の「サンアートフェスタ」、１２、１３、１７番の「ふるさと会館庭園コンサート」、１８番の「劇団四季エビータ」、など、多くのイベントが開催され、延べ９，０４６人の方に参加、来場いただきました。各講座の内容、講師、開催日時、会場、参加人数等につきましては、資料に掲載していますのでご覧ください。
秋松委員長	令和元年度前期社会教育・生涯学習活動報告の説明について、ご質問等ございましたらお願いいたします。
各委員	(なし)
秋松委員長	それでは、次の協議事項に移ります。「(２) 令和元年度後期社会教育・生涯学習活動計画について」事務局より説明をお願いします。
竹谷生涯学習推進課長	資料２６ページをお願いします。始めに、「読書啓発事業」です。資料２７ページをご覧ください。後期は、次の１番から５番までの読書講演会やお話し会などの事業を実施、又は予定しております。１番から３番までは、すでに実施済みとなります。特に、３番の昔話研究家小澤俊夫氏による読書講演会は、昔話の成り立ちやその意味を、グリム童話集に焦点をあて明らかにすることで、物語への興味を広げ、読書推進につなげるといったお話しで構成で、多くの方に満足して聞いていただけたことと思います。今後は、４番「大人のためのおはなし会」と、５番の詩人 矢崎節夫氏による読書講演会の開催を予定しております。 続いて、２８ページから４４ページまでが、後期に行なう悠学カレッジ講座となります。ここには、秋冬、新春に行なう講座を掲載しております。すでに、現在、秋冬で実施している講座を含めると、全部で１３３講座となります。内訳は、生活創造が５０講座、国際理解が４２講座、情報通信が４１講座です。 ４５ページをご覧ください。大学との連携による公開講座を２講座開催いたしました。暮らしの中の民俗学と題した講座では１３人、西洋美術と題した講座では４２人の方に参加していただくことができました。 したがって、年間トータルの講座数ではありますが、前期、後期、大学連携講座をあわせ、合計２０２講座となります。 最後に、展示、発表会、講演会の計画となりますが、市内で生涯学習活動をしている団体が、日頃の練習の成果を発表する場を提供するため、生涯学習発表会の開催を、来年２月に予定しております。また、２月１６日ですが、みよし悠学カレッジの設立２０周年を記念し、記念講演会の開催を計画しております。講師に、幻の茶碗といわれる国宝「曜変天目」の再現に、生涯取り組んでおられます陶芸家、九代・長江惣吉氏をお招きする予定をしております。
林資料館長	４６ページからご覧ください。石川家住宅歴史体感講座は、前期と同様に昔の生活やあそび、ものづくりを体感するさまざまな内容の講座を毎週土曜日・日曜日に

甲村スポーツ課長	開催するもので、１０月１日から来年３月３１日までに１２０回を計画しています。次に資料館展示事業としてみよし市文化財めぐりを１１月２３日土曜日に実施しました。この事業は、福谷城跡、市場古墳、黒笹２７号窯跡、石川家住宅、医王寺をバスで巡る事業で、参加者は７人でした。 資料４８ページからご覧ください。１番から３番までのスポーツ教室は、９月から後期教室を開催しており、ほぼ終了していますが、３番のスタンプ教室については１０月１５日実施予定分が台風の影響で中止しましたので、その分を１１月３０日に実施する計画をしています。４番のみよしレクリエーションスポーツフェスタ２０１９は、１２月１４日に総合体育館で開催する予定で準備をしています。当日はNHKの番組で「どーもくん」という着ぐるみのキャラクターが来館していただけます。現在の申込状況は定員１５０人に対して９０人程の申込みをいただいています。委員の皆さまのお近くに小さいお子さんがいらっしゃるご家庭がありましたら、是非お声かけをお願いしたいと思います。６番目の新春みよし市マラソン駅伝大会は、市制施行１０周年記念事業として１月２６日日曜日に開催します。今大会は、柏原竜二氏、森脇健児氏をゲストランナーとしてお招きする計画をしています。現在の申込状況は、申込総数約２，０００人で昨年度に比べ約２００人増となっています。申込みは１２月１日までと期間を延長しています。カヌー関係につきましてはシーズンオフですので、イベントは予定しておりません。 また、７番から９番の総合型地域スポーツクラブの活動は、年間計画により通年で教室・講座が開催されるように聞いております。
山崎教育行政課長	後期の「イ家庭教育推進事業について」と「ウ文化振興事業について」説明いたします。はじめに、「家庭教育推進事業について」、資料５１ページをご覧ください。「いきいき子育て講座（幼児期家庭教育学級）」につきましては、前期社会教育・生涯学習活動報告で説明しましたが、幼稚園児とその保護者を対象とした講座で、６講座を開催しました。後期の計画では、サンアートレセプションホールで１０月２５日金曜日に一般向けの講座を開催しました。講座内容は、タイトルを「生きる力～もめごとほこやし～」、講師に「花まる学習会 箕浦 健治氏」を招き、２００組の定員で開催しました。参加者は、保護者が６８人でした。 次に、資料５２ページからの小学生の保護者を対象とした「家庭教育学級」についてです。後期計画として、中部、南部、天王、三吉、緑丘、黒笹小学校の６校で１１講座が計画されています。各講座の内容、講師、開催日時、会場、定員等につきましては、資料に掲載していますのでご覧ください。 次に、資料５４ページの中学生の保護者を対象とした「思春期家庭教育講座」についてです。後期計画として、三好、南、三好丘中学校の３校で３講座が計画されています。各講座の内容、講師、開催日時、会場、定員等につきましては、資料に掲載していますのでご覧ください。 続いて、「文化振興事業について」、資料５６ページをお願いします。文化セン

	ターサンアート文化振興は、サンアートの指定管理者であるホームメックスグループ共同企業体が行う事業で、10月以降16件の事業を計画しています。定例のロビーコンサートは毎月の6回、みよしいいじゃん大学2回のほか、9番のオータムフェスタ2019、10番のJAXAとの共催事業「JAXAコズミックカレッジ」、15番の「春風亭昇太独演会」など、多くのイベントが計画されています。各講座の内容、講師、開催日時、会場、定員等につきましては、資料に掲載していますのでご覧ください。
秋松委員長	ありがとうございました。只今の説明につきましてご質問等ございましたらお願いします。
野口委員	47ページの資料館展示事業の「みよし市文化財めぐり」で、私どもの医王寺にもお越しいただきましてありがとうございました。みなさん来て見ていただける本当に良い機会だったなと思います。また何か感想やご意見などありましたらお聞かせいただけたらと思います。
秋松委員長	ありがとうございます。ご感想お礼を含めまして、今後もよくなる方向でよろしくお願ひしたいと思います。 講座の新規や廃止などの計画は、どのような課程を経て決定されているのでしょうか。
竹谷生涯学習推進課長	悠学カレッジ推進会議が年2回ありますので、講座に対してのアンケート調査結果や受講実績等を考慮しながら、また生活創造・国際理解・情報通信のそれぞれの分野のバランスを考え、担当者と打ち合わせをした上で、決定しています。
秋松委員長	こんな講座を開催してほしいといった要望はあるのですか。
竹谷生涯学習推進課長	特に、具体的には、直接聞いておりません。
秋松委員長	シルバー対象、老人対象の講座が非常に限られていると思います。数年前には通年講座を2、3回やっていたいたのですが、なくなってしまいました。楽しみにしていたのと、高齢社会ですので、今後また計画いただけるようよろしくお願ひします。
鈴木副委員長	15ページをお願いします。なかよし・さんさん・ともいきスポーツクラブの会員数についてですが、ともいきスポーツクラブは立ち上げが遅かったせいもあると思いますが会員数が少ないですね。北部の住民は多いと思うのですが、会員を増やすようなことはされているのでしょうか。
甲村スポーツ課長	ともいきスポーツクラブにつきましては、平成28年に設立され、東海学園大

	学の学舎の中に事務所を構えて活動を行っています。スポーツ課としてはレクリエーションスポーツフェスタでブースを設けて周知することの他、館内にポスター等掲示などを行っています。まだ、認知度が少ないのかなということは思っております。人と人とのつながりが会員の増加につながるのではないかと思います。
塚本委員	区長代表で参加していますが、10月の区長会の中で広報が月2回が1回になったことで、イベントの募集案内等の区内の回覧に時間がかかり、回ってくるのが遅いよという話が出ました。私の行政区でも8月以降に期限が切れているものが回ってくるから何とかしてほしいという話があり、区長会から市にできるだけ早く案内をしてほしいと言われていたと思いますが、講座等の申込みについて、期限が過ぎてからも申込みや問い合わせはあったのでしょうか。
山崎教育行政課長	教育行政課で行っているものは、学校や幼稚園を通して行っているのです。そういった問い合わせは今のところないです。
竹谷生涯学習推進課長	なるべく早い段階で広報等に載せるようにしているので、今のところそういった声はありませんが、今後としては十分にそういった可能性がありますので、なるべく早め早めにお知らせしていく形をとっていきたいと思っております。
塚本委員	10月の区長会の時に募集とかされるときはなるべく早くしてほしいという声がありましたので、よろしくお願いします。
秋松委員長	参加者があって事業が成り立ちますので、よろしくお願いします。
大地委員	広報が1回になったということで、今のようない問題点もおこってくるかなって思いますが、今回の悠学カレッジの広報案内はカラフルで非常に見やすく参加してみようかなって気持ちが起こるような工夫がされていていいなと感じました。広報でどのように皆さんに見て、読んでいただけるかということはとても大事ですので、これからもその点を考えて工夫していただきたいと思います。 それと秋松委員長も言われましたが、こういうことがあったのでこの講座は新しく開設しましたとか、こういう意図をもってこの講座を開くとかやめますとかいったことをこの社会教育委員会で教えていただけると事業の方向性などが解りますので、是非そういうことを入れていただきたいと思います。 市民の皆さんがどんな講座を開いてほしいとか、参加できない理由だけではなくて、こんな講座があったら参加したいと思っている人はいると思いますので、何かの機会を作って情報収集をされ、皆さんの思いをくみ取った講座を計画いただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
秋松委員長	いただいたご意見を前向きにご検討いただきたいと思います。
竹谷生涯学習推進課長	講座を受けていただいた方にアンケートを実施していますので、どういった講

	座をやったらいいかとか、もうちょっとこういうふう工夫したらいいよとかのご意見をいただいていますので、ご意見を参考に皆さんが楽しめる講座を増やしていきたいと思っております。
大地委員	講座を変更した点などを教えていただけるといいなと思いますので、よろしくお願いします。
秋松委員長	前向きによろしくお願いします。
塚本委員	サンアートが来年以降使えなくなるということですが、再来年のどれくらいから使えるのですか。
山崎教育行政課長	サンアートの休館期間は令和2年7月から令和3年10月末までの予定ですので、再来年の11月1日からはご利用いただける予定です。
秋松委員長	他にご質問、ご提案等ありましたらお受けしますが、いかがでしょうか。ないようでしたら協議事項の協議は終わらせていただきます。
3 報告事項 秋松委員長	それでは、3の報告事項に移ります。 東海北陸社会教育研究大会の参加報告についてですが、本来であれば参加された委員にご発表をお願いするところですが、既に研修報告書をご提出いただきましたので、参加されなかった委員の皆様にはお読みいただくということでご了承いただきたいと思います。質疑等がありましたらお願いします。
各委員	(なし)
4 その他 秋松委員長	特に無いようですので、次第4のその他について事務局より説明をお願いします。
事務局	第1回社会教育委員会でご提言いただいたことにつきまして、現段階での事務局の考えをお示しします。
吉野教育行政課主事	家庭教育学級、思春期家庭教育講座につきましては、ここにいる原委員さんをはじめとした各校PTAの保護者のみなさまと日置委員をはじめとした各学校の先生方に多大なご尽力をいただきまして開催いたしております。家庭教育学級につきましてご提言があった内容は、いくつかの学校を集約して実施できれば講師謝礼もある程度の額が確保でき、見合った講師がお願いできるのではないかと。家庭教育学級は各学校で実施する必要があるのか。これについての回答を述べさせていただきます。家庭教育学級につきましては、現在主導してくださっている保護者の方々や先生からの意見の集約にとりかかっているところでございます。各学校に講座での学びが、ためになったという声がある反面、学校の規模による違いもありまして、保護者の方の負担の声も聴かれています。今後は今年度の意見を集約・整理し次年度のより良い開催方法・形式を検討していきます。思春期

	家庭教育講座につきましては、いろいろなテーマで学校ごとに企画されています。例えば不登校、いじめ、ゲーム・ネット依存など、少数の方が困っているようなテーマについて、もっとたくさんの学校を対象に実施することはできないか。ということで、こちらにつきましても思春期家庭教育講座については、各学校の実情に合わせたテーマを行うようにお願いしております。左記の提言内容を踏まえ、学校にもテーマの助言をしてみたいです。こちらでも学校からの意見を踏まえ、次年度以降より良い開催方法・形式を検討していきますので、よろしくお願い致します。
秋松委員長	ありがとうございました。ご納得いただきましたでしょうか。さらにこうした方がいいという意見がございましたら、よろしくお願いします。
日置委員	私の学校では前期に全て終わっており、後期も行った方がよかったのかなと思っております。講師さんの都合もあり、前後期をもし分けるのであればPTAが主催となってやって下さっているものですからお願いしないといけないのかなと思っております。もう1つは予算が少ないことで、予算を確保するためには例えば4回を2回にし、1回は豊田警察の生活安全課にお願いする。そうすれば費用がかからないので、費用がかかる方に回せば少しは予算が足りるかなということを考えております。家庭教育講座の実施回数の枠を取り払ってもらえると1回は講師料のいらぬ講師さんをお呼びかな、もう1回はいただいた予算の中で全部使ってお呼べる講師さんをお呼びかなということになっていきます。なぜこのような話をするかと言いますと三好丘小も児童数が減少しておりまして、PTAに対する負担も大きくなってきてPTA活動も見直していけないかなと考えています。実施回数の枠についても学校運営上考慮していただきたいと思います。
吉野教育行政課主事	家庭教育学級、思春期家庭教育講座は国の方から地方創生推進交付金という補助金をもらっている事業になっております。その関係で講座の回数・時間等のしびりがあったのですが、今年度でこの補助はいったん終わりをまして、来年度は市の単独事業になりますので、ご意見を参考によりよい開催方法、形式を検討していきたいと思っております。
日置委員	年度末に説明会があると思いますので、そこで変更点などのご説明をよろしくお願い致します。
秋松委員長 事務局 秋松委員長	ありがとうございました。他に連絡事項等がありますか。 第3回の社会教育委員会の予定ですが、2月の下旬ぐらいを予定しております。 ありがとうございました。 本日の議事はすべて終了いたしました。ご協力ありがとうございました。進行を事務局へお返しします。
事務局	以上で第2回社会教育委員会を終了させていただきます。

